

シンプルBOX2.5 USB3.1 Type-C 7mm

CSS25U31C-BK-7MM

取扱説明書



CENTURY

もくじ

ごあいさつ	4
--------------	----------

はじめに	5
-------------	----------

- 安全上のご注意..... 5
- 制限事項..... 10
- ご使用の前に..... 11

製品仕様	12
-------------	-----------

製品内容	13
-------------	-----------

各部の名称	14
--------------	-----------

対応情報	16
-------------	-----------

- 対応SSD 16
- 対応OS 16
- 対応機種..... 17

使用上のお願い	18
----------------	-----------

SSDの組み込み方法	19
-------------------	-----------

- SSD接続の前に 19
- SSDを本体に組み込む 20

PCとの接続方法	23
-----------------	-----------

トラブルシューティング	24
--------------------	-----------

FAQ(よくある質問とその回答)	28
-------------------------	-----------

巻末付録	巻末付録1
-------------	--------------

●領域の確保とフォーマット.....	巻末付録2
●ハードウェアの取り外し手順.....	巻末付録10
●Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)	巻末付録12
●Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法	巻末付録16
●サポートのご案内.....	巻末付録20

ごあいさつ

このたびは「**シンプルBOX2.5 USB3.1 Type-C 7mm**」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。

ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。

また、お読みになったあとも大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

はじめに

安全上のご注意 (必ず守っていただくようお願いいたします)

- ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します

 警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
 注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

 注意指示事項	 禁止(禁止行為)
 分解禁止	 濡れた手での接触禁止
 水濡れ禁止	 電源プラグを抜く
 接触禁止	 ケガに注意

安全上のご注意 (必ず守っていただくようお願いいたします)

警告



煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。

内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。

点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。



電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。

定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

警告



電源コード、接続コードに関する注意事項

以下の注意点を守ってご使用ください。

被膜が損傷したり、故障を招くだけでなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステーブル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。



雷が鳴り出したら機器に触れない

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。



ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。



体に異変が出たら使用しない

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。

機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

安全上のご注意 (必ず守っていただくようお願いいたします)

⚠ 注意



設置場所に関する注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙が付きやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきがかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

注意



長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。



機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。



小さいお子様を近づけない

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。



小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。



静電気にご注意ください

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

はじめに

制限事項

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。できるかぎり離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は、日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品は、7mm厚2.5インチSATA(シリアルATA)SSD接続専用です。PATA(パラレルATA)SSDは接続できません。

ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。



静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

製品仕様

■商 品 名：シンプルBOX2.5 USB3.1 Type-C 7mm

■型 番：CSS25U31C-BK-7MM

■インターフェイス

• デバイス側：SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps

• ホスト側：USB3.1 Generation2 10Gbps

■USBコネクタ形状：Type-C

■重 量：約 60g(ドライブ含まず)

■寸 法：幅85mm×高さ10.5mm×奥行き134mm
(突起部含まず)

■温 度 ・ 湿 度：温度5℃～35℃、湿度20%～80%
(結露しないこと、接続するPCの動作範囲内
あること)

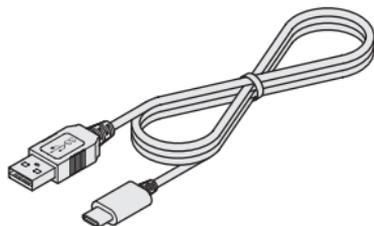
※本製品にSSDは付属しておりません。

製品内容

□CSS25U31C-BK-7MM 本体



□専用USBケーブル
(Type-A to Type-C)



□取扱説明書/保証書



各部の名称

〈正面〉

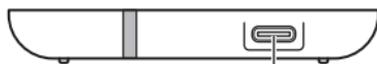


パワー/アクセスLED

- 通電時：ブルー点灯
- アクセス時：ブルー点滅

〈側面〉

■左側面



USB (Type-C) コネクタ

■右側面



底面カバーロック

対応SSD

■5V駆動の7mm厚 2.5" SATA SSD (SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※本製品は7mm厚SATA SSD専用です。9.5mm厚のHDDやSSD、PATA (IDE)は接続できません。

※1.8インチ、ZIFコネクタ、Micro SATAコネクタ、PCIe接続、3.3V駆動、12V駆動およびSATA接続以外の特殊形状SSDは使用できません。

※外部筐体が通常のSSDとは異なる形状のSSDは接続できない場合があります。

対応OS

【Windows】

■Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7

※Windows RT、Starter Edition、Embeddedは動作対象外となります。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。

最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

【Mac】

■Mac OS 10.11.2/10.10.5/10.9.5

対応機種

【Windows】

■USB3.1/3.0/2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機

※CPUクロック 2GHz以上/メインメモリ 4GB以上推奨

■動作確認済みUSB3.1ホストインターフェイス

- センチュリー製 CIF-U31P2
(asmedia ASM1142 USB3.1ホストインターフェイス)
- ASUS Z97-A USB3.1
(asmedia ASM1142 USB3.1ホストインターフェイス)

※各ホストインターフェイスのドライバは最新のものをご使用ください。

※PCMCIA、Express CardのUSBホストインターフェイスカードは、電力の供給が不足して動作しない場合があります。

【Mac】

■USB3.1/3.0/2.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac

※USB3.1/3.0での動作には、USB3.1またはUSB3.0ホストインターフェイスが必要となります。

※USB-C(Type-C)コネクタ搭載のPCおよびMacに接続する場合、USB Type-C変換アダプタ等が必要になります。

本製品には付属しませんので、別途お買い求めください。

使用上のお願い

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

本製品からのOS起動に関して

本製品はOS起動には対応していません。

SATA SSDの取り扱いについて

SSDの保護のために、未使用時は本製品からSSDを取り外して保管してください。

SATA SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するSSDの着脱保証回数が設定されております。

この回数を超えるとSSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

SSDの組み込み方法

SSD接続の前に

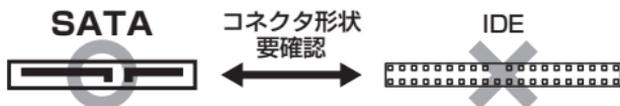
★SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。

人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

本製品は **7mm厚 2.5インチSATA SSD** 専用です。
IDE(PATA)SSDは接続できません。



注意



注意

- すでにデータの入っているSSDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。
- SSDの取り付け、取り外しを行う際にSSDに傷がつく場合があります。SSDに傷がついたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、SSDメーカーの保証が受けられなくなる場合があります。SSDの出し入れはゆっくりと静かに行き、必要以上に傷がつかないように慎重にお取扱いください。



警告

SSDのコネクタやエッジで手を切らないように十分注意して作業を行ってください。



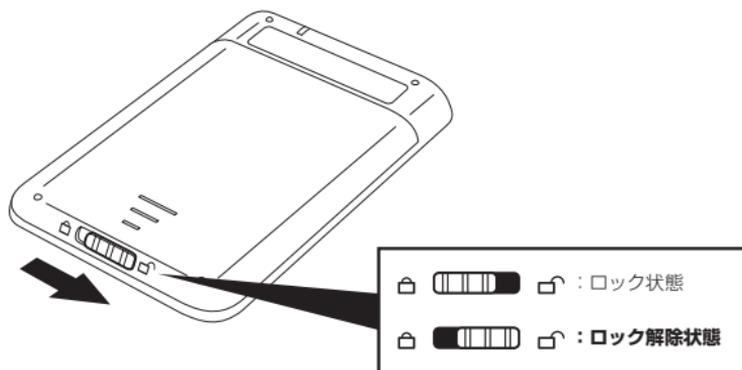
警告

本製品のケースや基板、SSD本体、コネクタ等で手を切らないように十分ご注意ください。

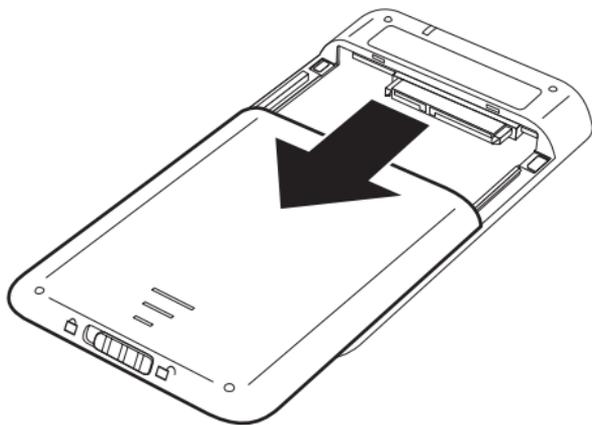
SSDの組み込み方法

SSDを本体に組み込む

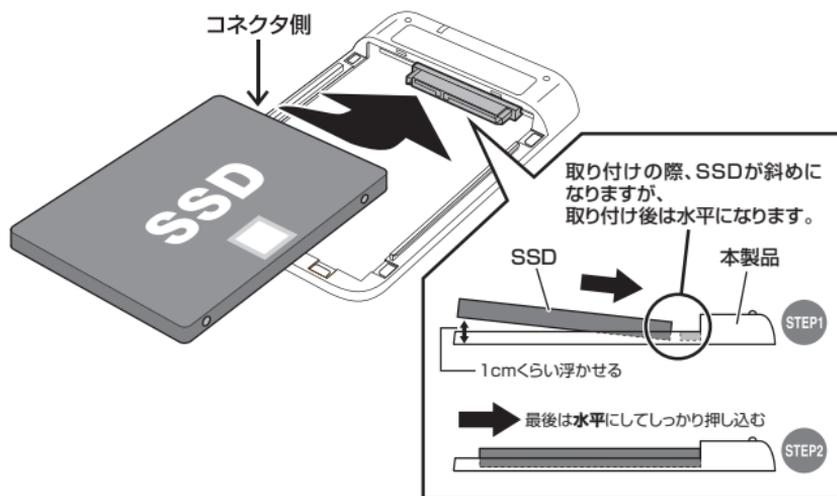
- ① 本体を裏返し、底面カバーロックを解除します。



- ② カバーをスライドさせ、底面カバーを取り外します。



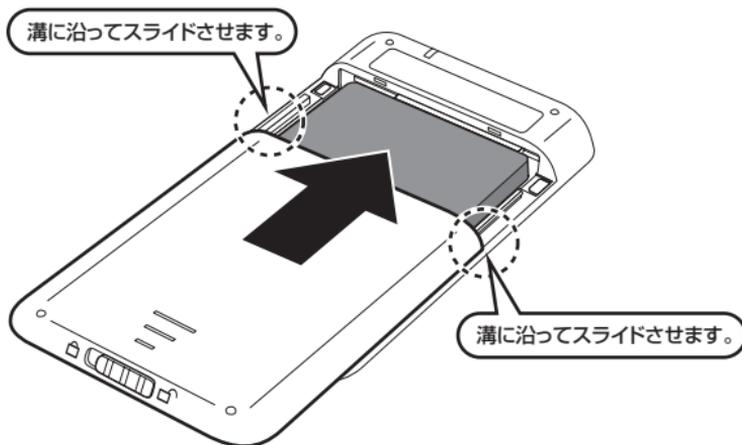
③SSDを取り付けます。差し込む際、SSDの向きにご注意ください。



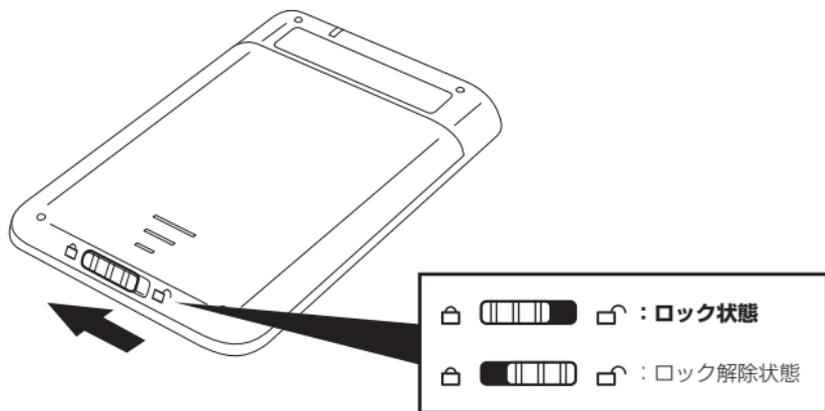
SSDの組み込み方法

SSDを本体に組み込む(つづき)

- ④底面カバーを溝に沿ってスライドさせ取り付けます。



- ⑤カバーロックをロック状態の位置に戻して完成です。



※SSDを取り出す際は逆の手順をたどってください。

PCとの接続方法

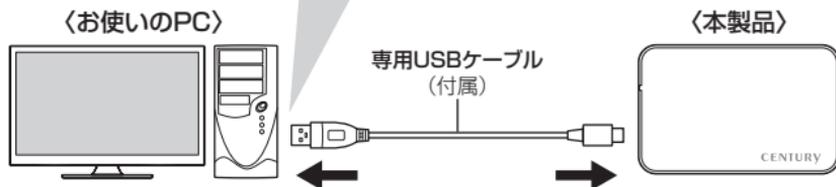
ご使用になるPCへは付属のケーブルを用い、下図を参考に接続してください。

USB3.1またはUSB3.0/2.0コネクタへ

※ PC側のUSBインターフェイス形状は、USB3.1/3.0/2.0ともに共通ですので、USB3.1以外のUSBホストにも付属のUSBケーブルがご使用いただけます。

※ USB-C(Type-C)コネクタ搭載のPCおよびMacに接続する場合、USB Type-C変換アダプタ等が必要になります。

本製品には付属しませんので、別途お買い求めください。



トラブルシューティング

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

以下をお試しください。

- SSDが正常に差し込まれているか確認する。
- 各接続ケーブル、ACケーブル等を確認する。
- パワー/アクセスLEDが点灯してもが点灯しているか確認する。
- USB3.1ホストが正常に動作しているか確認する。

■パワー/アクセスLEDが点灯しても、SSDが動作しない

配線が正しく接続されているかご確認ください。

また、付属のケーブル以外を接続されると、故障や事故の原因となりますので、必ず付属のケーブルをご使用ください。

■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■本製品からOSが起動しない

OS起動はサポートしておりません。

■新しいSSDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にSSDのアイコンが表示されない

新しいSSDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
【領域の確保とフォーマット】または【Mac OSでの使用方法】【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照のうえ、初期化の作業を行ってください。

• Windowsでお使いの場合

→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。

• Macでお使いの場合

→巻末付録12【Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)】
巻末付録16【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】
をご確認ください。

■PCMCIA、Express CardのUSBカード経由で動作しない

PCMCIA、Express CardのUSBカードでは電力が不足してしまいます。
PCMCIA、Express CardのUSBカードに電力を補強するACアダプター等がある場合、ACアダプターを接続してご使用ください。

■SSDにアクセスしていないのに、パワー/アクセスLEDが点滅します。故障ですか？

ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のSSDにアクセスする場合があります。

■S.M.A.R.T情報が表示されない

S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあります。

弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

トラブルシューティング

■30分以上経ってもSSDのフォーマットが完了しない(Windows)

SSDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。

フォーマットを短時間で完了させたい場合は「クイックフォーマット」を選択してください。

詳しくは、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

■USB3.1/3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう

本製品の電源をオンにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。PCの電源をオフにした状態で本製品を接続し、動作をご確認ください。

■USB3.1接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう

ご使用のUSB3.1インターフェイス側のドライバによる不具合の可能性があります。

ご使用のUSB3.1インターフェイスのドライバのアップデート状況をご確認ください。

■転送速度が遅い

USB2.0ホストに接続した場合、転送速度は最大で480Mbps(理論値)となります。USB3.1/3.0ホストに接続した場合でも、内蔵したSSD自体の速度が遅い場合や、同時に接続しているUSBデバイスの影響、CPUの負荷率などにより、本来の転送速度を得ることができない場合があります。

また、USB高速化ツール等を使用した場合、本来の転送速度を発揮できない場合がありますので、その際はツールの機能をオフにして再度お試しください。

■SSDの動作が不安定、または動作しません(USB2.0、SSD使用時)

USBハブなどを経由して接続を行っていませんか？
バスパワータイプのUSBハブを経由すると電力不足になり、動作しない場合があります。
直接USBポートに接続して動作をご確認ください。

■SSDを取り付けるとカバーが閉められない

本製品は7mm厚のSSD専用となっております。ご使用のSSDが9.5mm厚であったり、筐体が通常のHDD互換になっていない特殊形状の場合、ご使用になれません。

■500GBのSSDを接続したのに、認識される容量が465GB程度になってしまう

計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

• 1 MB = 1,000,000バイト

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

• 1 KB = 1024 バイト

• 1 MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト

• 1 GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト

• 1 TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト

です。

たとえば500GBと表示されているドライブの場合、これを換算してみますと、

• $500,000,000,000 \div 1,073,741,824 = \text{約 } 465.66 \text{ GB}$

となり、35GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(SSDメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

FAQ(よくある質問とその回答)

Q. 他の機器で使用していたデータの入ったSSDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

- A. 基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。
不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったSSDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q. 着脱可能回数は何回ですか？

- A. 本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
SSD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、詳しい着脱可能回数は、SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q. Windows ServerやLinuxで動作しますか？

- A. サポート対象外となります。
サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。
ドライバの提供や操作方法等はご案内できかねます。

Q. USB3.1 接続時の実際の転送速度は？

- A. USB3.1は理論値で10Gbpsと非常に高速ですが、CPUやUSB3.1ホストの性能によって実測値は変わってきます。
弊社テスト環境での実測値は下図になります。

Window 8.1環境でのUSB3.1転送速度

All	5	1000MB	D: 2% (4/233GB)
	Read [MB/s]	Write [MB/s]	
Seq	491.7	479.8	
512K	395.0	384.3	
4K	32.34	59.06	
4K QD32	318.2	228.7	

〈テスト環境〉

- 使用マザーボード
ASUS Z97-A USB3.1
- 使用SSD
SAMSUNG 850EVO 250GB
- ベンチマークソフト
CrystalDiskMark 3.0.4

Windows 7環境でのUSB3.1転送速度

All	5	2000MB	E: 0% (0/119GB)
	Read [MB/s]	Write [MB/s]	
Seq	292.0	265.9	
512K	215.8	262.4	
4K	25.44	42.56	
4K QD32	28.33	53.01	

〈テスト環境〉

- 使用マザーボード
GIGABYTE GA-X48-DS4
- 使用SSD
SAMSUNG 840PRO 128GB
- ベンチマークソフト
CrystalDiskMark 3.0.2

新しいSSDをお使いの場合は こちらをお読みください。

- 領域の確保とフォーマット…………… 巻末付録2
- ハードウェアの取り外し手順…………… 巻末付録10
- Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで) …… 巻末付録12
- Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法 …… 巻末付録16

！ご注意ください！

- 領域の確保とフォーマットを行うと、SSDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたSSDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとSSD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているSSDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、SSDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。



この手順どおりに処理を行うと、SSDのフォーマットを行ってSSD内に入っているデータを消去します。

消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Windows 10】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows-10-format.html>



【Windows 8(8.1)】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows8-format.html>



【Windows 7】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows7-format.html>

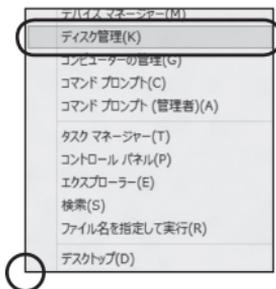


【Windows Vista】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windowsvista.html>



1.



Windows 10/8(8.1)

画面左下を右クリックし、「ディスク管理」を開きます。

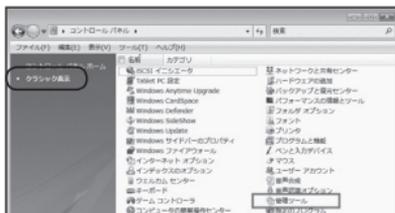
その後は手順.3にお進みください。



Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



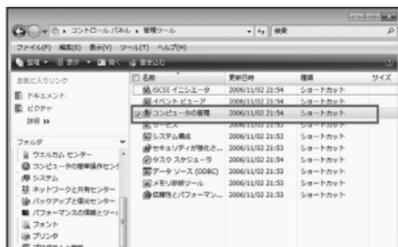
Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

領域の確保とフォーマット

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。
続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。
システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)
プロパティ(P)
ヘルプ(H)

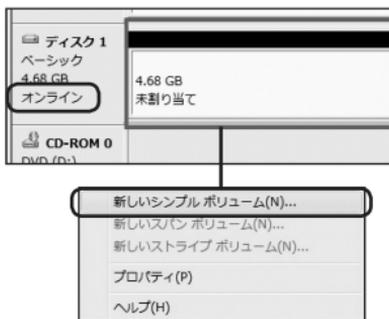
4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします。

5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

領域の確保とフォーマット

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

- **ファイルシステム**

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- **アロケーションユニットサイズ**

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。

特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

- **ボリュームラベル**

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- **クイックフォーマットする**

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- **ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**

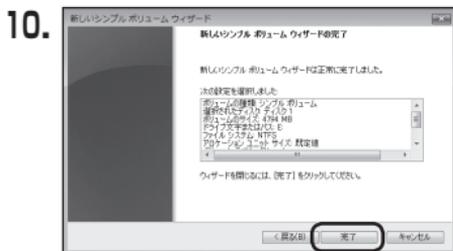
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

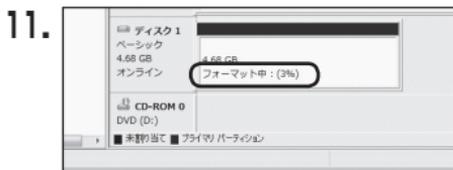
設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

領域の確保とフォーマット



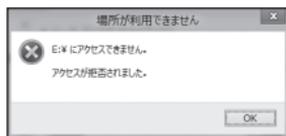
【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

ハードウェアの取り外し手順

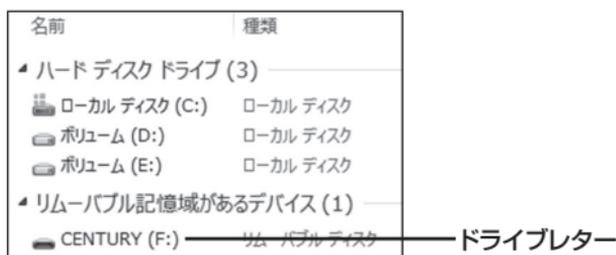
本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※製品の中に組み込んだSSDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をした上で、必ず製品の電源をオフにしてから行ってください。

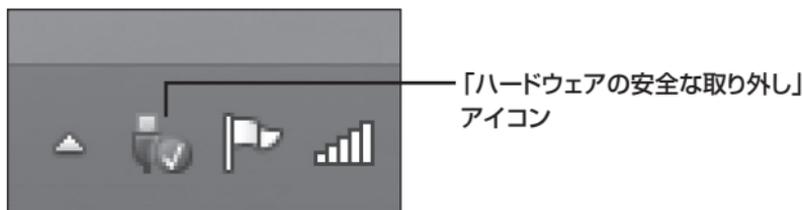
※画面はWindows 8のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

1. 「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。

例：ドライブ (F:) を取り外す場合



2. タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

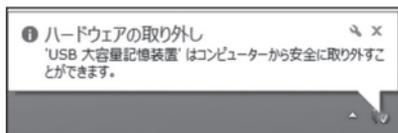


3. 手順1で確認したドライブレターのドライブをクリックします。



※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

4. 取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)

本項では、Mac OSに新しいSSDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

※Mac OS 10.11以降でフォーマットを行う場合は、巻末付録16【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照ください。



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているSSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいSSDのみを接続してください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-format.html>



1.



容量が一致する新しいSSD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。
起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したSSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のSSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

- **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- **名** 前：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。
Mac OS標準、Mac OS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
通常は Mac OS標準か Mac OS拡張を選択してください。
- **サイズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オプション**：Mac OS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- **分割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削除**：選択されているボリュームを削除します。
- **元に戻す**：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」を
クリックします。

5.



フォーマットが完了すると、デスクトップ
にSSDアイコンが表示されます。

取り外しをする場合は、このアイコンを
Dockの中のごみ箱にドロップします。

Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているSSDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいSSDのみを接続してください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法(OSX El Capitan[Mac OS 10.11])】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-osx-el-capitan-format.html>



1.



フォーマットされていないディスクを接続すると、メッセージが表示されますので、「初期化...」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。

※手動でディスクユーティリティを起動する場合は、アプリケーション>ユーティリティ>ディスクユーティリティを選択してください。

2.



ウィンドウ左側「外部」の下に接続されているディスクが表示されますので、フォーマットするディスクを選択します。

※フォーマットするディスクの容量等を確認して間違いがないか確認してください。

Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法(つづき)

3.



① ウィンドウ上部にある「消去」ボタンをクリックすると、シートダイアログが表示されますので設定を確認します。

【名前】…ディスクの名前を入力します。

【フォーマット】…通常は「OS X 拡張 (ジャーナリング)」を選択してください。

【方式】…通常は「GUIDパーティションマップ」を選択してください。

※MacとWindows両方で利用したい場合は、フォーマットを「MS-DOS(FAT)」または「exFAT」、方式は「マスターブートレコード」を選択してください。

「MS-DOS(FAT)」は2TBより大きな容量のディスクでは利用できません。

exFATはOSのバージョン(過去のバージョン等)によっては、対応していない場合があります。

② 「消去」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

4.



完了のシートダイアログが表示されればフォーマット完了です。

サポートのご案内

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきなほら十余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】 <http://www.century.co.jp>

【Mail】 support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしくをお願いいたします。

～弊社商品につきましてのアンケート～

【URL】 <http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.